

電子黒板の活用方法を情報交換 — 多久市学校「電子黒板活用」授業研究会 —

多久市教育委員会は6月7日、電子黒板をより効果的に活用するための授業研究会を北部小で開きました。市内の小中学校教諭や市長、市議会議員など約30人が、折れ線グラフを学ぶ4年生の算数の授業を参観した後、提案授業をもとに教諭らが、さらなる電子黒板の活用法を探り、情報を交換しました。

授業は、伴って変わる2つの数量の変化の様子を折れ線グラフに表したり、その特徴を読み取ったりする能力を高める7時限の3限目。資料となる佐賀とオーストラリアの月ごとの気温を記録した折れ線グラフを電子黒板に大きく表示して進みました。学習ポイントとなる線の傾きをさ



■児童が積極的に発表をし合う、電子黒板を活用した算数の授業（北部小4年1組）

らに拡大し、理解を促し、考えたことを児童に電子ペンを使って書き込ませ発表。教諭は、パワーポイントを作ったり、デジタルコンテンツを探したり、スキヤナで教材を取り込むなど事前に教材を準備し、授業中もウェブカメラでノートや教材を画面に映して、児童の興味や集中力を高めていきました。

この授業をもとに、指導方法改善担当・千北昌子教諭が、電子黒板を活用した授業づくりの工夫を発表。質疑応答を行い、各学校での実践事例を紹介し、それぞれの学校で役立つ情報を交換しました。

佐城教育事務所の江頭直樹指導主事は「児童のすこい集中力に感心した。電子黒板を教室全体で共有する手立てをとると、子どもたち同士でのコミュニケーションも広がるのでは」と提案し、佐賀県のICT教育をリードする多久市の環境と実践にエール。「今年度は、使うから使いこなす」を目標に今後も研究会を重ね、魅力ある学校づくりを進めます。

定例教育委員会のお知らせ

7月6日に定例教育委員会を開きました。夏休み期間中に中学2年生が生が市内の約60事業所で取り組む職場体験学習や、今年度の学校教育や社会教育などの方針や施策をまとめた「多久市教育要覧」について協議しました。

次回は、8月6日(金)9時30分から第3委員会室（市役所2階）で開催します。傍聴は自由です。

■問い合わせ

教育委員会 教育統括室
☎75-13450

市交際費支出状況

▼平成22年度6月分

支出種別	区別	件数	金額(円)
弔慰	今月分	4	20,000
	累計	6	30,000
見舞い	今月分	1	10,000
	累計	2	20,000
御祝	今月分	1	3,255
	累計	10	41,010
賛助	今月分	2	10,500
	累計	2	10,500
激励金	今月分	0	0
	累計	1	10,000
接遇	今月分	54	118,800
	累計	57	127,960
会費	今月分	5	18,500
	累計	13	60,500
その他	今月分	0	0
	累計	2	6,510
合計	今月分	67	181,055
	累計	93	306,510

◎詳細は市のホームページに掲載しています。

■問い合わせ 総務課・秘書係 ☎75-2115

佐賀中部広域連合からの お詫びと訂正のお知らせ

7月12日に発送した介護保険料の通知書のうち、仮徴収額（平成22年度の保険料が確定するまでの暫定徴収額）に変更があった方への通知書の中で、一部箇所にて字句の誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

訂正対象の通知書 「仮徴収額変更通知書 兼 特別徴収決定通知書」
訂正内容 誤「介介護保険料」 → 正「介護保険料」

■問い合わせ 佐賀中部広域連合 業務課 ☎40-1135